

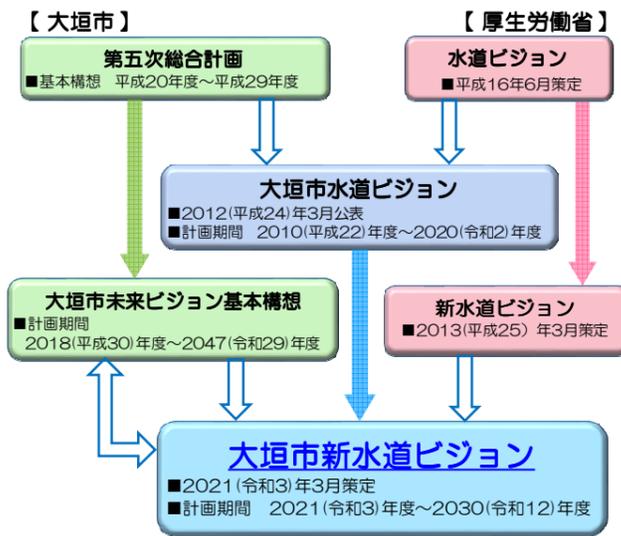
大垣市新水道ビジョン 概要版

1. 策定の趣旨と位置づけ

大垣市では、2010（平成22）年度～2020（令和2）年度を計画期間とした水道ビジョンを策定し、さまざまな施策に取り組んできました。

2021（令和3）年3月に計画期間が終了し、これまでの取り組みについて評価しその結果を踏まえたうえで、水道事業を取り巻く状況の変化に合わせた新たな取り組みについての構想をまとめ、推進していく時期を迎えました。

近年、水道を取り巻く環境は大きく変化しています。その対応を図るため、厚生労働省では水道事業の理想像を示し、取り組みの目指すべき方向性や実現方策を示した『新水道ビジョン』を2013（平成25）年3月に公表しています。本市においても、厚生労働省が策定した新水道ビジョンや、また2018（平成30）年12月12日に水道の基盤強化を図ることを目的として公布された水道法の改正を踏まえ、安全な水道水の供給と、強靱で持続可能な水道を実現するため、「大垣市新水道ビジョン」を策定しました。



2. 前回ビジョンの評価

<上水道事業>

<安心>安心できるおいしい水の供給

施策目標	取水設備の整備	業務指標：水源余裕率			評価			
施策内容	取水設備の整備 既設取水井の改修	策定当時	14.5	現況値	29.5	目標値	29.2	◎
達成率	101.0%（達成）	2007(H19)	%	2018(H30)	%	2020(R2)	%	

<安定>安定した水の供給

施策目標	配水池の容量確保	業務指標：配水池貯水能力			評価			
施策内容	配水池の新設による貯水容量の確保	策定当時	0.29	現況値	0.43	目標値	0.43	◎
達成率	100%（達成）	2007(H19)	日	2018(H30)	日	2020(R2)	日	

施策目標	配水池の容量確保	業務指標：配水池耐震化率			評価			
施策内容	配水池の新設による耐震性配水池の確保	策定当時	16.5	現況値	44.2	目標値	42	◎
達成率	105.2%（達成）	2007(H19)	%	2018(H30)	%	2020(R2)	%	

施策目標	管路の耐震化と更新	業務指標：管路の耐震化率			評価			
施策内容	重要管路ルート耐震化整備事業の推進 老朽管更新整備事業の推進	策定当時	2.2	現況値	20.5	目標値	7.0	◎
達成率	292.9%（達成）	2007(H19)	%	2018(H30)	%	2020(R2)	%	

施策目標	管路の耐震化と更新	業務指標：漏水率			評価			
施策内容	漏水量の低減（老朽管更新）	策定当時	16.5	現況値	10.8	目標値	8.5	○
達成率	72.9%（継続中）	2007(H19)	%	2018(H30)	%	2020(R2)	%	

<持続>健全で持続可能な事業運営

施策目標	経営基盤の強化と健全経営の維持	業務指標：経営戦略の策定			評価			
施策内容	経営シミュレーションの活用	策定当時	—	現況値	2019(R1)	目標値	健全経営	◎
達成率	経営戦略の策定（達成）	2007(H19)		策定済	2020(R2)	の維持		

施策目標	情報の公開と意見の収集	業務指標：広報誌への掲載回数			評価			
施策内容	広報活動の充実	策定当時	5	現況値	9	目標値	7	◎
達成率	128.6%（達成）	2007(H19)	回/年	2018(H30)	回/年	2020(R2)	回/年	

<簡易水道事業>簡易水道事業の整備と効率的な事業運営

安心	施策目標	簡易水道施設の整備	評価
	施策内容	浄水場の整備	◎
	達成状況	牧田配水区と一之瀬和田配水区の浄水場を整備。	

安定	施策目標	簡易水道施設の整備	評価
	施策内容	既存計画に基づく管路の耐震化と更新	◎
	達成状況	老朽管の更新事業を実施中。今後も継続的に実施。	

持続	施策目標	効率的な事業運営	評価
	施策内容	上水道事業との事業統合	○
	達成状況	上石津北部簡易水道、上石津南部簡易水道に統合。事業運営を効率化。上水道事業との統合は検討を継続。	

3. 大垣市水道事業の基本理念と理想像

(1) 基本理念



(2) 理想像



4. 推進する実現方策

安全(安全で澄んだ水道水の提供)

(1) 計画的な施設整備と適切な水質管理

- ① 取水施設の整備
- ② 水源の監視と水質管理体制の充実
- ③ 貯水槽設置者への啓発活動と直結給水への対応

持続(健全でいつまでも続く水道事業の実現)

(1) 水道事業の安定経営

- ① 資産管理（アセットマネジメント）の活用
- ② 水道料金の適正化
- ③ 有収率の向上

(2) 利用者サービスの充実

- ① 料金収納サービスの向上
- ② 広報活動の充実

(3) 環境保全の推進

- ① 環境対策への取り組み強化

(4) 技術の継承と民間活用による業務の効率化

- ① 人材育成と技術の継承
- ② 官民連携の推進による業務の効率化
- ③ 水道事業の広域化・広域連携の検討

強靱(災害に強く途切れぬ水道)

(1) 水道施設の老朽化対策と耐震化の推進

- ① 浄水施設の更新と耐震化
- ② 配水池貯水能力の確保と耐震化
- ③ 管路の更新と耐震化

(2) 危機管理体制の強化

- ① 資機材等の備蓄
- ② 広域的相互応援体制の整備